

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信		特化型
信託期間	2025年3月14日まで（2015年3月20日設定）		
運用方針	AMP オーストラリアREITマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてオーストラリアの不動産投資信託証券に実質的な投資を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。マザーファンドの不動産投資信託証券等の運用にあたっては、AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドに運用指図に関する権限を委託します。		
主要運用対象	ベビーファンド	AMP オーストラリアREITマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。	
	マザーファンド	オーストラリアの不動産投資信託証券を主要投資対象とします。	
主な組入制限	ベビーファンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。	
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。	
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。なお、第3計算期末までの間は、収益の分配は行いません。		

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。  
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。  
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

- ファンドは特化型運用を行います。一般社団法人投資信託協会は信用リスク集中回避を目的とした投資制限（分散投資規制）を設けており、投資対象に支配的な銘柄（寄与度が10%を超える又は超える可能性の高い銘柄）が存在し、又は存在することとなる可能性が高いものを、特化型としています。
- ファンドは、オーストラリアの不動産投資信託証券に実質的に投資します。オーストラリアの不動産投資信託証券には、寄与度が10%を超える又は超える可能性の高い支配的な銘柄が存在するため、特定の銘柄への投資が集中することがあり、当該支配的な銘柄に経営破綻や経営・財務状況の悪化が生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。  
 \* 寄与度とは、投資対象候補銘柄の時価総額の合計額における一発行体あたりの時価総額が占める比率または運用管理等に用いる指数における一発行体あたりの構成比率を指します。

## 運用報告書（全体版）

# 三菱UFJ／AMP オーストラリア REITファンド 〈為替ヘッジなし〉（毎月決算型）

愛称：コアランド



第49期（決算日：2019年4月15日）  
 第50期（決算日：2019年5月15日）  
 第51期（決算日：2019年6月17日）  
 第52期（決算日：2019年7月16日）  
 第53期（決算日：2019年8月15日）  
 第54期（決算日：2019年9月17日）



## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
 さて、お手持ちの「三菱UFJ／AMP オーストラリアREITファンド〈為替ヘッジなし〉（毎月決算型）」は、去る9月17日に第54期の決算を行いましたので、法令に基づいて第49期～第54期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。  
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



## 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用  
 フリーダイヤル **0120-151034**  
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、  
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

## 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			( 参 考 指 数 )		投 資 信 託 純 資 産 額	純 資 産 額			
	(分配落)	税 分	込 配	み 期	騰 落			中 率	中 率	
	円	円	%	S&P/ASX 200 A-REIT Index	( 配 当 込 み、 円換算ベース)	期 騰 落	中 率	組 入 比	託 券 率	純 資 産 額
25期(2017年4月17日)	10,062	10	4.1	10,710.59			4.2	98.1	98.1	1,347
26期(2017年5月15日)	9,874	10	△1.8	10,542.56		△1.6	4.2	97.6	97.6	1,225
27期(2017年6月15日)	9,921	10	0.6	10,635.69		0.9	4.2	97.1	97.1	1,192
28期(2017年7月18日)	9,642	10	△2.7	10,334.85		△2.8	4.2	96.5	96.5	1,028
29期(2017年8月15日)	9,634	10	0.0	10,400.41		0.6	4.2	93.0	93.0	996
30期(2017年9月15日)	10,018	10	4.1	10,800.44		3.8	4.2	96.7	96.7	1,020
31期(2017年10月16日)	9,940	10	△0.7	10,754.76		△0.4	4.2	98.1	98.1	914
32期(2017年11月15日)	10,194	10	2.7	11,062.06		2.9	4.2	98.1	98.1	768
33期(2017年12月15日)	10,655	10	4.6	11,603.16		4.9	4.2	98.5	98.5	720
34期(2018年1月15日)	10,191	10	△4.3	11,189.02		△3.6	4.2	91.7	91.7	639
35期(2018年2月15日)	9,274	10	△8.9	10,249.24		△8.4	4.2	97.8	97.8	522
36期(2018年3月15日)	9,440	10	1.9	10,304.14		0.5	4.2	96.4	96.4	525
37期(2018年4月16日)	9,444	10	0.1	10,288.60		△0.2	4.2	96.5	96.5	514
38期(2018年5月15日)	9,844	10	4.3	10,759.88		4.6	4.2	97.0	97.0	521
39期(2018年6月15日)	9,933	10	1.0	10,888.51		1.2	4.2	95.5	95.5	507
40期(2018年7月17日)	10,299	10	3.8	11,420.65		4.9	4.2	91.6	91.6	485
41期(2018年8月15日)	10,047	10	△2.3	11,202.86		△1.9	4.2	93.8	93.8	459
42期(2018年9月18日)	10,194	10	1.6	11,336.56		1.2	4.2	95.4	95.4	448
43期(2018年10月15日)	9,433	10	△7.4	10,476.53		△7.6	4.2	93.8	93.8	407
44期(2018年11月15日)	9,978	10	5.9	11,060.00		5.6	4.2	97.2	97.2	419
45期(2018年12月17日)	10,094	10	1.3	11,136.62		0.7	4.2	97.0	97.0	421
46期(2019年1月15日)	9,838	10	△2.4	10,936.51		△1.8	4.2	97.3	97.3	404
47期(2019年2月15日)	10,376	10	5.6	11,499.43		5.1	4.2	96.0	96.0	420
48期(2019年3月15日)	10,911	10	5.3	11,998.61		4.3	4.2	96.7	96.7	431
49期(2019年4月15日)	11,127	10	2.1	12,321.11		2.7	4.2	97.1	97.1	429
50期(2019年5月15日)	10,447	10	△6.0	11,540.84		△6.3	4.2	97.3	97.3	393
51期(2019年6月17日)	10,992	10	5.3	12,073.92		4.6	4.2	98.3	98.3	406
52期(2019年7月16日)	11,323	10	3.1	12,589.89		4.3	4.2	96.3	96.3	417
53期(2019年8月15日)	10,657	10	△5.8	11,863.47		△5.8	4.2	97.5	97.5	383
54期(2019年9月17日)	10,651	10	0.0	11,931.21		0.6	4.2	96.0	96.0	382

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

- (注) S&P／ASX 200 A-REIT Indexとは、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが公表している指数で、オーストラリア証券取引所の上場不動産投資信託の値動きを示す代表的な指数の1つです。S&P／ASX 200 A-REIT Index（配当込み、円換算ベース）とは、S&P／ASX 200 A-REIT Index（配当込み）をもとに、委託会社が計算したものです。S&P／ASX 200 A-REIT IndexはS&P Dow Jones Indices LLC（「SPDJI」）の商品であり、これを利用するライセンスが三菱UFJ国際投信株式会社に付与されています。Standard & Poor's<sup>®</sup>およびS&P<sup>®</sup>はStandard & Poor's Financial Services LLC（「S&P」）の登録商標で、Dow Jones<sup>®</sup>はDow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標であり、これらの商標を利用するライセンスがSPDJIに、特定目的での利用を許諾するサブライセンスが三菱UFJ国際投信株式会社にそれぞれ付与されています。当ファンドは、SPDJI、Dow Jones、S&Pまたはそれぞれの関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これら関係者のいずれも、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S&P／ASX 200 A-REIT Indexの誤り、欠落、または中断に対して一切の責任も負いません。
- (注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。
- (注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額		( 参 考 指 数 ) S&P/ASX 200 A-REIT Index (配当込み、 円換算ベース)		投 資 信 託 組 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	
第49期	(期首) 2019年3月15日	円 10,911	% —	11,998.61	% —	% 96.7
	3月末	11,122	1.9	12,252.69	2.1	98.7
	(期末) 2019年4月15日	11,137	2.1	12,321.11	2.7	97.1
第50期	(期首) 2019年4月15日	11,127	—	12,321.11	—	97.1
	4月末	10,903	△2.0	12,057.09	△2.1	97.6
	(期末) 2019年5月15日	10,457	△6.0	11,540.84	△6.3	97.3
第51期	(期首) 2019年5月15日	10,447	—	11,540.84	—	97.3
	5月末	10,489	0.4	11,632.04	0.8	97.8
	(期末) 2019年6月17日	11,002	5.3	12,073.92	4.6	98.3
第52期	(期首) 2019年6月17日	10,992	—	12,073.92	—	98.3
	6月末	11,156	1.5	12,336.48	2.2	98.2
	(期末) 2019年7月16日	11,333	3.1	12,589.89	4.3	96.3
第53期	(期首) 2019年7月16日	11,323	—	12,589.89	—	96.3
	7月末	11,101	△2.0	12,402.96	△1.5	95.7
	(期末) 2019年8月15日	10,667	△5.8	11,863.47	△5.8	97.5
第54期	(期首) 2019年8月15日	10,657	—	11,863.47	—	97.5
	8月末	10,668	0.1	11,893.76	0.3	98.1
	(期末) 2019年9月17日	10,661	0.0	11,931.21	0.6	96.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

# 運用経過

第49期～第54期：2019年3月16日～2019年9月17日

## ▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第49期首	10,911円
第54期末	10,651円
既払分配金	60円
騰落率	-1.8%
(分配金再投資ベース)	

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

## 基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ1.8%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

## 基準価額の主な変動要因

### 上昇要因

豪州連邦準備銀行（RBA）による利下げ観測の高まりや利下げの実施に加え、シドニーやメルボルンの住宅市場に対する投資家心理が改善したことなどを背景に、オーストラリアREIT市況がローカルベースで上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。保有銘柄の中では、住宅用不動産などを手掛ける「MIRVAC GROUP」（各種・分散投資型）や、オフィス用不動産や物流不動産などを手掛ける「CHARTER HALL GROUP」（各種・分散投資型）などが上昇しました。

### 下落要因

オーストラリアの長期金利が低下したことや、世界経済への警戒感などを背景にリスク回避の円買いが進行したことなどから、豪ドルが対円で下落したことが基準価額の下落要因となりました。

第49期～第54期：2019年3月16日～2019年9月17日

## 投資環境について

### ▶ オーストラリアREIT市況 オーストラリアREIT市況は、当作成期を通じては上昇しました。

当作成期首から2019年4月にかけては、2019年初頭からの上昇を受けた利益確定売りの動きや同国・長期金利の動向などを背景に軟調な展開となったものの、5月から7月上旬にかけては、RBAによる利下げ観測の高まりや、同国の長期金利が低下したことなどが好感され上昇しました。また、連邦総選挙で与党保守連合が政権を維持したことや、豪健全性規制庁（APRA）による融資規制の廃止提案などを背景に、同国の住宅市場に対する底打ち期待が高まったことなども、同市場の上昇をサポートする要因となりました。

7月中旬から当作成期末にかけては、オーストラリアREIT市況の高値警戒感に加え、米中貿易摩擦や世界経済への

不透明感などを受けた投資家心理の悪化などを背景に下落したものの、当作成期を通じてみるとオーストラリアREIT市況は上昇しました。

### ▶ 為替市況 豪ドルは、当作成期を通じては対円で下落しました。

当作成期首から2019年4月中旬にかけては、豪ドルは対円で上昇したものの、4月下旬から8月にかけては、RBAによる利下げ観測の高まりや利下げの実施に加え、世界経済への不透明感などを背景にリスク回避の円買いが進行したことなどから、豪ドルは対円で下落しました。

9月から当作成期末にかけては、金融市場への過度な警戒感が一部後退したことなどから投資家心理が改善し、豪ドルは対円で上昇したものの、当作成期を通じてみると豪ドルは対円で下落しました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ 三菱UFJ／AMP オーストラリアREITファンド<為替ヘッジなし>（毎月決算型）

マザーファンドへの投資を通じて、オーストラリアのREITを高位に組み入れる運用を行いました。

### ▶ AMP オーストラリアREITマザーファンド

オーストラリアのREITを高位に組み入れつつ、中長期的な不動産価値の向上による恩恵が期待される、店舗用の優良な物件を重視しながら、オフィス用RE

ITについては都市毎の経済環境によって選別的な運用を行いました。

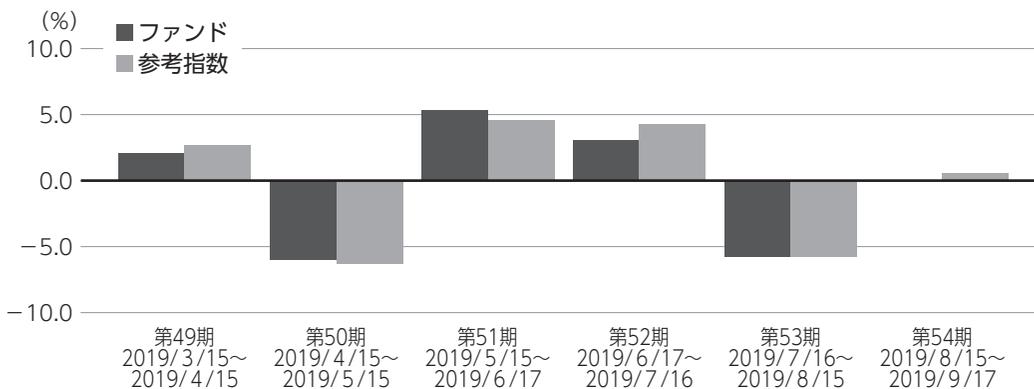
当作成期は、各種・分散投資型の投資比

率を引き上げた一方、店舗用の投資比率を引き下げました。

第49期～第54期：2019年3月16日～2019年9月17日

## 当投資信託のベンチマークとの差異について

### 基準価額と参考指数の対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。上記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。

参考指数はS & P / A S X 200 A - R E I T I n d e x（配当込み、円換算ベース）です。

## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

## 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期	第54期
	2019年3月16日～ 2019年4月15日	2019年4月16日～ 2019年5月15日	2019年5月16日～ 2019年6月17日	2019年6月18日～ 2019年7月16日	2019年7月17日～ 2019年8月15日	2019年8月16日～ 2019年9月17日
当期分配金 （対基準価額比率）	<b>10</b> (0.090%)	<b>10</b> (0.096%)	<b>10</b> (0.091%)	<b>10</b> (0.088%)	<b>10</b> (0.094%)	<b>10</b> (0.094%)
当期の収益	2	－	1	10	10	10
当期の収益以外	7	10	8	－	－	－
翌期繰越分配対象額	1,302	1,293	1,285	1,498	1,502	1,540

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

### ▶三菱UFJ／AMP オーストラリアREITファンド<為替ヘッジなし>（毎月決算型）

マザーファンドへの投資を通じて、オーストラリアのREITを高位に組み入れ、値上がり益の獲得および配当収益の確保をめざす運用を行います。

### ▶AMP オーストラリアREITマザーファンド

オーストラリアREITは、RBAによる金融緩和策などを背景に低金利環境の持続期待が高まっており、実物不動産市場はテナントからの安定的な需要や、主要都市の物件供給が限定的であることなどが同市場の成長を下支えするとみています。世界の金融市場は、米中貿易摩擦などを受けてリスク回避的な動きが強

まっているものの、オーストラリアREITは、相対的に高い配当利回りやディフェンシブ性に着目した資金流入の高まりなどが期待されます。不動産の用途別では、事業環境が良好な工業用不動産や、優良オフィス不動産のファンダメンタルズが良好であることに加え、ここ数年に住宅価格の調整が続いた住宅市場は、シドニーやメルボルンなどで底打ち期待が生まれつつあります。

運用については、不動産価値の向上が期待される優良な物件を重視した運用を行い、中長期的な信託財産の成長と配当収益の確保をめざします。セクター別では、持続的な賃料の上昇が期待される工業用REITに注目しているほか、個別銘柄では、高い物件開発能力を有する銘柄に注目しています。

2019年3月16日～2019年9月17日

## 1万口当たりの費用明細

項目	第49期～第54期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	87	0.797	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(49)	(0.445)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(36)	(0.330)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	6	0.059	(b) 売買委託手数料 = 作成期中の売買委託手数料 ÷ 作成期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
（投資信託証券）	(6)	(0.059)	
(c) その他費用	5	0.046	(c) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(4)	(0.033)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(1)	(0.011)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	98	0.902	

作成期中の平均基準価額は、10,908円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

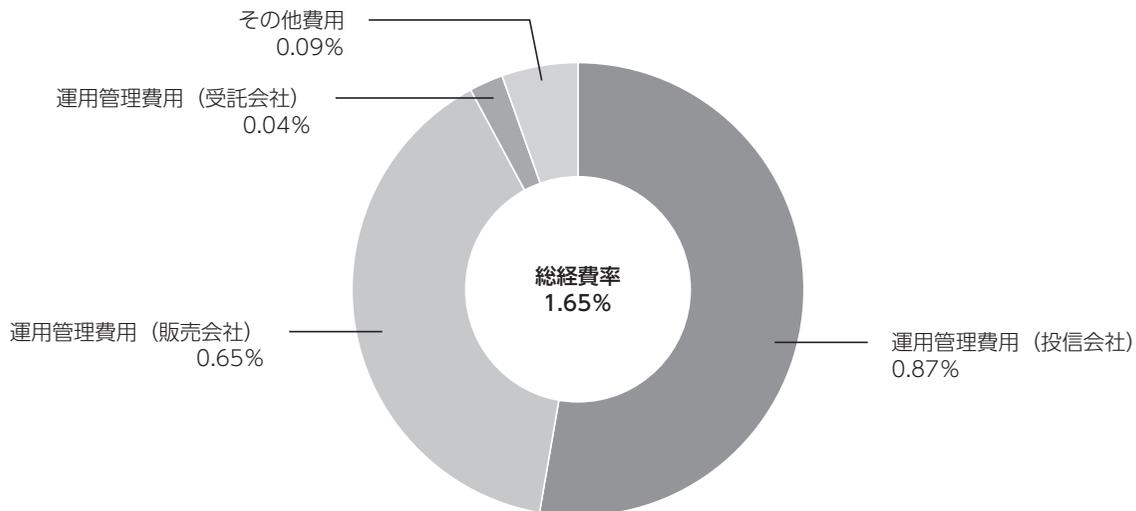
(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## （参考情報）

### ■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.65%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2019年3月16日～2019年9月17日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第49期～第54期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
AMP オーストラリアREITマザーファンド	千口 5,003	千円 6,200	千口 40,947	千円 50,000

## ○利害関係人との取引状況等

(2019年3月16日～2019年9月17日)

## 利害関係人との取引状況

&lt;三菱UFJ／AMP オーストラリアREITファンド&lt;為替ヘッジなし&gt; (毎月決算型) &gt;

該当事項はございません。

&lt;AMP オーストラリアREITマザーファンド&gt;

区 分	第49期～第54期					
	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	B A	うち利害関係人 との取引状況D	D C		
為替直物取引	百万円 579	百万円 50	% 8.6	百万円 444	百万円 157	% 35.4

平均保有割合 11.3%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはモルガン・スタンレーMUFJ証券です。

## ○組入資産の明細

(2019年9月17日現在)

## 親投資信託残高

銘 柄	第48期末	第54期末	
	口 数	口 数	評 価 額
AMP オーストラリアREITマザーファンド	千口 352,076	千口 316,133	千円 380,593

## ○投資信託財産の構成

(2019年9月17日現在)

項 目	第54期末	
	評 価 額	比 率
AMP オーストラリアREITマザーファンド	千円 380,593	% 98.4
コール・ローン等、その他	6,185	1.6
投資信託財産総額	386,778	100.0

(注) AMP オーストラリアREITマザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産 (3,560,384千円) の投資信託財産総額 (3,577,989千円) に対する比率は99.5%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 オーストラリアドル=74.25円			
--------------------	--	--	--

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第49期末	第50期末	第51期末	第52期末	第53期末	第54期末
	2019年4月15日現在	2019年5月15日現在	2019年6月17日現在	2019年7月16日現在	2019年8月15日現在	2019年9月17日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	434,081,291	393,927,254	407,093,820	419,293,243	385,207,027	386,778,963
コール・ローン等	7,379,944	3,169,260	3,087,653	2,188,741	2,467,630	5,185,942
AMP オーストラリアREITマザーファンド(評価額)	426,701,347	390,757,994	404,006,167	415,104,502	380,739,397	380,593,021
未収入金	—	—	—	2,000,000	2,000,000	1,000,000
(B) 負債	5,073,582	903,041	957,613	2,038,848	1,986,978	4,076,363
未払収益分配金	385,557	376,192	369,477	368,517	359,603	359,320
未払解約金	4,119,388	—	23,058	1,152,819	1,108,970	3,172,456
未払信託報酬	567,226	525,551	563,685	516,232	517,129	543,240
未払利息	12	2	6	4	1	9
その他未払費用	1,399	1,296	1,387	1,276	1,275	1,338
(C) 純資産総額(A-B)	429,007,709	393,024,213	406,136,207	417,254,395	383,220,049	382,702,600
元本	385,557,516	376,192,589	369,477,103	368,517,485	359,603,675	359,320,730
次期繰越損益金	43,450,193	16,831,624	36,659,104	48,736,910	23,616,374	23,381,870
(D) 受益権総口数	385,557,516口	376,192,589口	369,477,103口	368,517,485口	359,603,675口	359,320,730口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,127円	10,447円	10,992円	11,323円	10,657円	10,651円

## ○損益の状況

項 目	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期	第54期
	2019年3月16日～ 2019年4月15日	2019年4月16日～ 2019年5月15日	2019年5月16日～ 2019年6月17日	2019年6月18日～ 2019年7月16日	2019年7月17日～ 2019年8月15日	2019年8月16日～ 2019年9月17日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 135	△ 146	△ 150	△ 120	△ 184	△ 135
受取利息	—	—	—	—	—	1
支払利息	△ 135	△ 146	△ 150	△ 120	△ 184	△ 136
(B) 有価証券売買損益	9,261,197	△24,689,985	21,044,214	13,055,713	△23,121,354	646,613
売買益	9,332,193	249,103	21,248,173	13,098,337	236,213	671,152
売買損	△ 70,996	△24,939,088	△ 203,959	△ 42,624	△23,357,567	△ 24,539
(C) 信託報酬等	△ 568,625	△ 526,847	△ 565,072	△ 517,508	△ 518,404	△ 544,578
(D) 当期繰越損益 (A+B+C)	8,692,437	△25,216,978	20,478,992	12,538,085	△23,639,942	101,900
(E) 前期繰越損益	40,169,752	47,309,661	21,336,645	41,323,204	51,728,427	27,509,531
(F) 追加信託差損益金	△ 5,026,439	△ 4,884,867	△ 4,787,056	△ 4,755,862	△ 4,112,508	△ 3,870,241
(配当等相当額)	( 1,740,171)	( 1,717,981)	( 1,708,673)	( 1,724,358)	( 2,195,401)	( 2,580,519)
(売買損益相当額)	(△ 6,766,610)	(△ 6,602,848)	(△ 6,495,729)	(△ 6,480,220)	(△ 6,307,909)	(△ 6,450,760)
(G) 計 (D+E+F)	43,835,750	17,207,816	37,028,581	49,105,427	23,975,977	23,741,190
(H) 収益分配金	△ 385,557	△ 376,192	△ 369,477	△ 368,517	△ 359,603	△ 359,320
次期繰越損益金 (G+H)	43,450,193	16,831,624	36,659,104	48,736,910	23,616,374	23,381,870
追加信託差損益金	△ 5,026,439	△ 4,884,867	△ 4,787,056	△ 4,755,862	△ 4,112,508	△ 3,870,241
(配当等相当額)	( 1,740,224)	( 1,717,981)	( 1,708,700)	( 1,725,724)	( 2,195,675)	( 2,590,428)
(売買損益相当額)	(△ 6,766,663)	(△ 6,602,848)	(△ 6,495,756)	(△ 6,481,586)	(△ 6,308,183)	(△ 6,460,669)
分配準備積立金	48,476,632	46,933,469	45,787,478	53,492,772	51,821,627	52,766,188
繰越損益金	—	△25,216,978	△ 4,341,318	—	△24,092,745	△25,514,077

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## &lt;注記事項&gt;

- ① 作成期首 (前作成期末) 元本額 395,181,967円  
 作成期中追加設定元本額 7,068,711円  
 作成期中一部解約元本額 42,929,948円  
 また、1口当たり純資産額は、作成期末1.0651円です。

## ② 分配金の計算過程

項 目	2019年3月16日～ 2019年4月15日	2019年4月16日～ 2019年5月15日	2019年5月16日～ 2019年6月17日	2019年6月18日～ 2019年7月16日	2019年7月17日～ 2019年8月15日	2019年8月16日～ 2019年9月17日
費用控除後の配当等収益額	98,219円	—円	64,962円	3,358,974円	452,803円	1,721,918円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	396,146円	—円	—円	4,850,974円	—円	—円
収益調整金額	1,740,224円	1,717,981円	1,708,700円	1,725,724円	2,195,675円	2,590,428円
分配準備積立金額	48,367,824円	47,309,661円	46,091,993円	45,651,341円	51,728,427円	51,403,590円
当ファンドの分配対象収益額	50,602,413円	49,027,642円	47,865,655円	55,587,013円	54,376,905円	55,715,936円
1万口当たり収益分配対象額	1,312円	1,303円	1,295円	1,508円	1,512円	1,550円
1万口当たり分配金額	10円	10円	10円	10円	10円	10円
収益分配金金額	385,557円	376,192円	369,477円	368,517円	359,603円	359,320円

③ 「AMP オーストラリアREITマザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し年10,000分の44以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

## ○分配金のお知らせ

	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期	第54期
1万口当たり分配金（税込み）	10円	10円	10円	10円	10円	10円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

## AMP オーストラリアREITマザーファンド

## 《第9期》決算日2019年9月17日

[計算期間：2019年3月16日～2019年9月17日]

「AMP オーストラリアREITマザーファンド」は、9月17日に第9期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第9期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	主としてオーストラリアの不動産投資信託証券に投資を行います。不動産投資信託証券への投資にあたっては、人口動態分析、マクロ経済分析等のトップダウン・アプローチと、個別銘柄の割当度や保有資産・業績の分析および資本構造や経営の質等の分析によるボトムアップ・アプローチを併用し、銘柄選定を行います。不動産投資信託証券等の運用にあたっては、AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドに運用指図に関する権限を委託します。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	オーストラリアの不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		(参考指数)		投資信託証券組入比	純資産総額
	円	騰落率	S&P/ASX 200 A-REIT Index (配当込み、円換算ベース)	騰落率		
5期(2017年9月15日)	10,710	5.1%	10,800.44	5.1%	97.2%	1,035百万円
6期(2018年3月15日)	10,234	△4.4%	10,304.14	△4.6%	97.0%	552
7期(2018年9月18日)	11,212	9.6%	11,336.56	10.0%	95.9%	2,299
8期(2019年3月15日)	12,169	8.5%	11,998.61	5.8%	97.4%	3,470
9期(2019年9月17日)	12,039	△1.1%	11,931.21	△0.6%	96.5%	3,576

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) S&P/ASX 200 A-REIT Indexとは、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが公表している指数で、オーストラリア証券取引所の上場不動産投資信託の値動きを示す代表的な指数の1つです。S&P/ASX 200 A-REIT Index (配当込み、円換算ベース)とは、S&P/ASX 200 A-REIT Index (配当込み)をもとに、委託会社が計算したものです。S&P/ASX 200 A-REIT IndexはS&P Dow Jones Indices LLC (「SPDJI」)の商品であり、これを利用するライセンスが三菱UFJ国際投信株式会社にて付与されています。Standard & Poor's<sup>®</sup>およびS&P<sup>®</sup>はStandard & Poor's Financial Services LLC (「S&P」)の登録商標で、Dow Jones<sup>®</sup>はDow Jones Trademark Holdings LLC (「Dow Jones」)の登録商標であり、これらの商標を利用するライセンスがSPDJIに、特定目的での利用を許諾するサブライセンスが三菱UFJ国際投信株式会社にてそれぞれ付与されています。当ファンドは、SPDJI、Dow Jones、S&Pまたはそれぞれの関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これら関係者のいずれも、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S&P/ASX 200 A-REIT Indexの誤り、欠落、または中断に対して一切の責任も負いません。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		( 参 考 指 数 ) S&P/ASX 200 A-REIT Index ( 配 当 込 み 、 円 換 算 ベ ー ス )		投 資 信 託 券 率 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	
(期 首) 2019年3月15日	円	%			%
	12,169	—	11,998.61	—	97.4
3月末	12,413	2.0	12,252.69	2.1	99.1
4月末	12,194	0.2	12,057.09	0.5	98.3
5月末	11,757	△3.4	11,632.04	△3.1	98.5
6月末	12,536	3.0	12,336.48	2.8	98.7
7月末	12,501	2.7	12,402.96	3.4	96.2
8月末	12,038	△1.1	11,893.76	△0.9	98.7
(期 末) 2019年9月17日	12,039	△1.1	11,931.21	△0.6	96.5

(注) 騰落率は期首比。

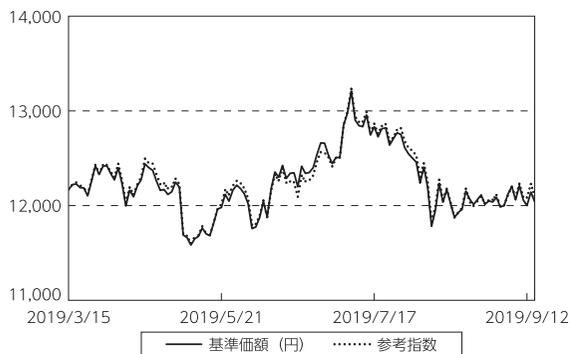
## ○運用経過

## ●当期中の基準価額等の推移について

## ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ1.1%の下落となりました。

基準価額等の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

## ●基準価額の主な変動要因

## (上昇要因)

豪州連邦準備銀行(RBA)による利下げ観測の高まりや利下げの実施に加え、シドニーやメルボルンの住宅市場に対する投資家心理が改善したことなどを背景に、オーストラリアREIT市況がローカルベースで上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。保有銘柄の中では、住宅用不動産などを手掛ける「MIRVAC GROUP」(各種・分散投資型)や、オフィス用不動産や物流不動産などを手掛ける「CHARTER HALL GROUP」(各種・分散投資型)などが上昇しました。

## (下落要因)

オーストラリアの長期金利が低下したことや、世界経済への警戒感などを背景にリスク回避の円買いが進行したことなどから、豪ドルが対円で下落したことが基準価額の下落要因となりました。

## ●投資環境について

## ◎オーストラリアREIT市況

- ・オーストラリアREIT市況は、期を通じては上昇しました。
- ・期首から2019年4月にかけては、2019年初頭からの上昇を受けた利益確定売りの動きや同国・長期金利の動向などを背景に軟調な展開となったものの、5月から7月上旬にかけては、RBAによる利下げ観測の高まりや、同国の長期金利が低下したことなどが好感され上昇しました。また、連邦総選挙で与党保守連合が政権を維持したことや、豪健全性規制庁（APRA）による融資規制の廃止提案などを背景に、同国の住宅市場に対する底打ち期待が高まったことなども、同市場の上昇をサポートする要因となりました。
- ・7月中旬から期末にかけては、オーストラリアREIT市況の高値警戒感に加え、米中貿易摩擦や世界経済への不透明感などを受けた投資家心理の悪化などを背景に下落したものの、期を通じてみるとオーストラリアREIT市況は上昇しました。

## ◎為替市況

- ・豪ドルは、期を通じては対円で下落しました。
- ・期首から2019年4月中旬にかけては、豪ドルは対円で上昇したものの、4月下旬から8月にかけては、RBAによる利下げ観測の高まりや利下げの実施に加え、世界経済への不透明感などを背景にリスク回避の円買いが進行したことなどから、豪ドルは対円で下落しました。
- ・9月から期末にかけては、金融市場への過度な警戒感が一部後退したことなどから投資家心理が改善し、豪ドルは対円で上昇したものの、期を通じてみると豪ドルは対円で下落しました。

## ●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・オーストラリアのREITを高位に組み入れつつ、中長期的な不動産価値の向上による恩恵が期待される、店舗用の優良な物件を重視しながら、オフィス用REITについては都市毎の経済環境によって選別的な運用を行いました。
- ・当期は、各種・分散投資型の投資比率を引き上げた一方、店舗用の投資比率を引き下げました。

## ○今後の運用方針

- ・オーストラリアREITは、RBAによる金融緩和策などを背景に低金利環境の持続期待が高まっており、実物不動産市場はテナントからの安定的な需要や、主要都市の物件供給が限定的であることなどが同市場の成長を下支えするとみています。世界の金融市場は、米中貿易摩擦などを受けてリスク回避的な動きが強まっているものの、オーストラリアREITは、相対的に高い配当利回りやディフェンシブ性に着目した資金流入の高まりなどが期待されます。不動産の用途別では、事業環境が良好な工業用不動産や、優良オフィス不動産のファンダメンタルズが良好であることに加え、ここ数年に住宅価格の調整が続いた住宅市場は、シドニーやメルボルンなどで底打ち期待が生まれつつあります。
- ・運用については、不動産価値の向上が期待される優良な物件を重視した運用を行い、中長期的な信託財産の成長と配当収益の確保をめざします。セクター別では、持続的な賃料の上昇が期待される工業用REITに注目しているほか、個別銘柄では、高い物件開発能力を有する銘柄に注目しています。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年3月16日～2019年9月17日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 投 資 信 託 証 券 )	円 7 ( 7 )	% 0.061 (0.061)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( そ の 他 )	6 ( 4 ) ( 1 )	0.045 (0.034) (0.011)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	13	0.106	
期中の平均基準価額は、12,246円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2019年3月16日～2019年9月17日)

## 投資信託証券

銘柄	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
オーストラリア	千口	千オーストラリアドル	千口	千オーストラリアドル
VICINITY CENTRES	55	141	579	1,483
ABACUS PROPERTY GROUP	16	63	49	194
INGENIA COMMUNITIES GROUP	118	358	13	45
CHARTER HALL GROUP	10	117	38	410
SHOPPING CENTRES AUSTRALASIA	55 ( 16)	139 ( 41)	67	171
NATIONAL STORAGE REIT	27 ( 14)	45 ( 23)	87	152
SCENTRE GROUP	117	454	457	1,767
CHARTER HALL LONG WALE REIT	102 ( 6)	498 ( 33)	36	196
CENTURIA METROPOLITAN REIT	—	—	49	132
DEXUS	51	626	—	—
CHARTER HALL LONG WALE REIT	84	419	—	—
NATIONAL STORAGE REIT	107	183	—	—
CHARTER HALL RETAIL REIT	40	180	—	—
INVESTEC AUSTRALIA PROPERTY	135	179	—	—
MIRVAC GROUP-NEW	276	820	—	—
GPT GROUP	46	283	—	—
ABACUS PROPERTY GROUP	65	260	—	—
GPT GROUP	123	763	110	678
MIRVAC GROUP	287	903	201	621
STOCKLAND	242	1,083	56	243
DEXUS	88	1,163	39	518
BWP TRUST	—	—	23	88
CHARTER HALL RETAIL REIT	65	303	38	162
GOODMAN GROUP	70	995	78	1,105
小計	2,189 ( 37)	9,986 ( 98)	1,930	7,973

(注) 金額は受渡代金。

(注) ( )内は分割・合併および償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ○利害関係人との取引状況等

(2019年3月16日～2019年9月17日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	579	50	8.6	444	157	35.4

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはモルガン・スタンレーMUF G証券です。

## ○組入資産の明細

(2019年9月17日現在)

## 外国投資信託証券

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末			
	口 数	口 数	評 価 額		比 率	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(オーストラリア)	千口	千口	千オーストラリアドル	千円	%	
VICINITY CENTRES	1,038	514	1,327	98,559	2.8	
ABACUS PROPERTY GROUP	244	277	1,085	80,597	2.3	
INGENIA COMMUNITIES GROUP	—	104	408	30,339	0.8	
CHARTER HALL GROUP	308	280	3,106	230,664	6.4	
SHOPPING CENTRES AUSTRALASIA	530	535	1,382	102,630	2.9	
NATIONAL STORAGE REIT	465	526	942	70,000	2.0	
SCENTRE GROUP	1,899	1,559	6,224	462,151	12.9	
CHARTER HALL LONG WALE REIT	185	342	1,917	142,374	4.0	
CENTURIA METROPOLITAN REIT	143	93	283	21,015	0.6	
INVESTEC AUSTRALIA PROPERTY	—	135	209	15,586	0.4	
GPT GROUP	661	721	4,370	324,489	9.1	
MIRVAC GROUP	1,353	1,715	5,215	387,253	10.8	
STOCKLAND	405	590	2,604	193,368	5.4	
DEXUS	401	501	6,123	454,644	12.7	
BWP TRUST	107	83	323	23,987	0.7	
CHARTER HALL RETAIL REIT	185	252	1,074	79,807	2.2	
GOODMAN GROUP	737	729	9,881	733,675	20.5	
合 計	口 数 ・ 金 額	8,669	8,966	46,480	3,451,146	
	銘 柄 数 < 比 率 >	15	17	—	< 96.5% >	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率および合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

## 純資産総額の10%を超える不動産ファンドに関する組入投資信託証券の内容

## ●GOODMAN GROUP（期末組入比率20.5%）

## ① 信託の概要

グッドマンは、商業用および産業用不動産の所有、開発、運営を行うリートで、グローバルに倉庫、大規模物流施設やオフィスなどを展開しています。S & P / ASX 200 A-REIT Indexにおいて約15.6%を占めます。

## ② 1口当たりの資産運用報酬額等

投資信託の資産運用報酬額等に相当する詳細な開示がないため、1口当たりの資産運用報酬額等に関する開示は出来ません。

ホームページアドレス <http://www.goodman.com/>

## ●SCENTRE GROUP（期末組入比率12.9%）

## ① 信託の概要

WESTFIELD GROUPの再編に伴い、2014年6月に形成されたリートであり、S & P / ASX 200 A-REIT Indexにおいて約13.4%を占めます。

豪州国内およびニュージーランドに約40のショッピングセンターを所有しています。

## ② 1口当たりの資産運用報酬額等

投資信託の資産運用報酬額等に相当する詳細な開示がないため、1口当たりの資産運用報酬額等に関する開示は出来ません。

ホームページアドレス <http://www.scentregroup.com/>

## ●DEXUS（期末組入比率12.7%）

## ① 信託の概要

オフィス・産業用建物、小売、ヘルスケアなど、多角的な不動産ポートフォリオの運用を行うリートです。S & P / ASX 200 A-REIT Indexにおいて約8.4%を占めます。

## ② 1口当たりの資産運用報酬額等

投資信託の資産運用報酬額等に相当する詳細な開示がないため、1口当たりの資産運用報酬額等に関する開示は出来ません。

ホームページアドレス <https://www.dexus.com/>

## ●MIRVAC GROUP（期末組入比率10.8%）

## ① 信託の概要

住宅、商業、オフィス、産業などの不動産に投資するリートです。S & P / ASX 200 A-REIT Indexにおいて約7.5%を占めます。

## ② 1口当たりの資産運用報酬額等

投資信託の資産運用報酬額等に相当する詳細な開示がないため、1口当たりの資産運用報酬額等に関する開示は出来ません。

ホームページアドレス <https://www.mirvac.com/>

## ○投資信託財産の構成

(2019年9月17日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資証券	千円 3,451,146	% 96.5
コール・ローン等、その他	126,843	3.5
投資信託財産総額	3,577,989	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(3,560,384千円)の投資信託財産総額(3,577,989千円)に対する比率は99.5%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 オーストラリアドル=74.25円		
--------------------	--	--

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年9月17日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	3,577,989,566 円
コール・ローン等	105,152,002
投資証券(評価額)	3,451,146,421
未収入金	21,443,614
未収配当金	247,529
(B) 負債	1,000,032
未払解約金	1,000,000
未払利息	32
(C) 純資産総額(A-B)	3,576,989,534
元本	2,971,085,843
次期繰越損益金	605,903,691
(D) 受益権総口数	2,971,085,843口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,039円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 2,852,023,106円  
期中追加設定元本額 515,366,528円  
期中一部解約元本額 396,303,791円  
また、1口当たり純資産額は、期末1.2039円です。

## ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

オーストラリア好利回り3資産バランス(年2回決算型)	2,654,952,425円
三菱UFJ/AMP オーストラリアREITファンド<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	316,133,418円
合計	2,971,085,843円

## ○損益の状況

(2019年3月16日~2019年9月17日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	62,080,702 円
受取配当金	62,017,299
受取利息	71,389
支払利息	△ 7,986
(B) 有価証券売買損益	△ 93,196,922
売買益	167,283,632
売買損	△260,480,554
(C) 保管費用等	△ 1,608,984
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 32,725,204
(E) 前期繰越損益金	618,681,632
(F) 追加信託差損益金	112,403,472
(G) 解約差損益金	△ 92,456,209
(H) 計(D+E+F+G)	605,903,691
次期繰越損益金(H)	605,903,691

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。